



岩手県・盛岡市（人口29万8千人）

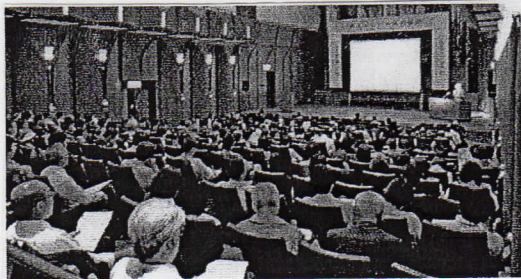
岐阜市議会総務委員会で視察

公共施設のマネージメント推進視察 平成4年・18年の合併で20年中核市 実施計画作定は平成21年から始まる

10月24日、岐阜市議会総務委員会で盛岡市の視察に参加させていただきました。盛岡市では公共施設の再配置事業について勉強をさせていただきました。

市は平成21年に「自治体経営の指針及実施計画の策定」を行っています。公共施設の配置のあり方、維持管理手法の具体化を行うことを定めています。22～23年度に岩手県立大学盛岡市まちづくり研究所の調査で「長寿命化・総量縮小」の提言を受け、

24年度には専任組織設置、利用、経営、建築物状況の分析を行ない、25年度に基本方針策定、市民討議会開催、カルテ公表。26年度、長期計画策定、27年度市民意見交換会実施。中期計画・実施計画策定と進められています。



老朽化問題に関する全国の取り組み事例
盛岡市の取り組みを振り返り、市民の皆さんと共に今後の在り方を考えるフォーラム（延210人参加）平成27年



意見交換会（30地区・延385人参加）います。

施設効率化実施は財政部が主導

興味深い点は、これらの報告を財政部資産経営課が行なったことです。平成24年の資産管理活用事務局の設置は、財政部に専任組織（事務3名、建築士2名）事務局を設置されています。基本情報収集事業は委託3200万円、調査員1.5名。保全状況調査は直営880万円臨時職員6名（内建築士3名）で、819棟を実施されています。25年度の基本方針は「量、サービス、コスト、性能の最適化」を目指し、「新規の設置、取得は原則行なわない」と記されて

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

盛岡市367施設の方向性は？

平成18年合併の遺産処理に課題か

「施設保有の最適化に向けた取り組み」では全367施設の内、継続254、複合化19、転用7、建替え4、減築6、保留24（今後の検討により方向性が定まるもの）譲渡27、解体26の内訳になっています。保留もあいまいですが、解体も26とそんなに多くとは感じられませんでした。

存続・保留は、歴史的経過などがネックになるようでした。岐阜市における柳津地区の7公民館類似施設や、町民会館機能施設も稼働率、サービス、コスト等の適正化を点検しなければ、と、視察参加者は感じられたと思います。

楽しく健康増進！ の・・・健康体操 だが

岐阜市教育委員会・岐阜市教育文化振興事業団の企画で「健康体操」が高齢者を対象に、ストレッチ、リズム体操、球技などの指導が行なわれているようです。期間は30年度は4月17日～7月24日、9月4日～12月11日、受講料は週2回コースで各6200円。前半参加者は総合体育館48人、南部スポーツセンター45人、東部体育館43人、西部体育館72人、北部体育館83人、北西部体育館63人、ファミリーパーク体育館37人、体育ルーム（橋本町）190人などです。

熱心な参加者は事業団の企画の前半と後半のハザマに、自主的に体育館を借り、講師には講師料と季節のお礼もして「健康体操」を1年を通じて参加されているようです。ところが、「講師料とお礼は」参加者人数での割り算になり「講師料等総額と参加人数」の関係から個人負担が多額になり「不参加」になるケースが多く出ると、更に個人負担増になる悪循環が生まれ、これが「本来の市の企画への参加も取止める」原因になっているとの指摘もあります。「楽しく健康増進！」と、なっているのか？



松原のりかず
☎058-253-2500